



目次

| | |
|--------------------------------------------|----|
| 新年のごあいさつ 代表理事組合長 靱田 清 食と農のふれあいの場 農業祭 | 2 |
| こいびと—表紙の生産者をご紹介 安佐南区川内 石光 賢次さん | 4 |
| ●JAトピックス | 6 |
| まるごとJA [第7回] JA広島市『ほっと館』 | 8 |
| 農の現場から⑦ 佐東地区 | 10 |
| 松田麗子の おなかいっぱい、幸せいっぱい 広島菜漬 | 12 |
| 健やか生活相談室 窒息事故が起こったら、 どうしたらいいですか? | 14 |
| やさしい菜園プラン レタス | 15 |
| ●おしゃべり広場 | 16 |
| ●HAPPY SMILE | 16 |
| ●クロスワードパズル | 17 |
| ●JA広島市 情報BOX | 18 |
| ●ひろしまる倶楽部 & こいぶみ 農家今昔物語 | 20 |

謹んで新春のお慶びを 申し上げます。

代表理事組合長 靱田 清

組合員および地域のみなさまには、平素からJA広島市の事業運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農業・JAを取り巻く情勢は、農協法をはじめとしてさまざまな農業関連の法律が改正されており、海外に目を向けても、TPP11や日欧EPA、日米FTAなど依然として予断を許さない状況となっています。県内農業の農業産出額においては、1990年に1,384億円あったものが、2015年には1,164億円と、減少の途をたどっています。

こうしたなか本年は、「自己改革」の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて平成28年度に策定した「第7次

中期経営計画」および「第5次営農振興計画」の最終年度を迎えます。JA広島市では、農業者への支援および、組合員のみなさまへの充実したサービスの提供に、層力を入れるとともに、組合員のみなさまの目標に立ち、声に耳を傾け、計画に掲げた目標の達成をめざすことで、「自己改革」の実現に取り組んでまいります。

食と農を基軸とした、地域に根差した協同組合として、農業者をはじめとした組合員、地域のみなさまから真に信頼され、「JAがあつて良かった」から、「地域にJAがなくてはならない」と言われるような組織となるよう、役員一丸となって取り組んでまいりますので、本年もより一層のみなさまのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



食と農のふれあいの場 農業祭

農業祭では、生産者のみなさんが丹精込めて育てた農産物の品評会、出品農産物の展示および即売会をはじめ、新鮮な農産物・加工品などの販売、神楽上演、もちまき、お楽しみ抽選会、レディースクラブによる舞台発表や作品展など、地域のみなさまに楽しんでいただけるよう、盛りだくさんのイベントを実施しました。

JA広島市では、「食」と「農」をテーマに統一企画として、ポスター掲示や、テレビコマーシャルによるPR活動、そして管内特産品コーナーを設置するなど、より多くの方に来場いただくための、賑わいの創出に取り組むとともに、自己改革への理解を深めていただくためのパネル展示やアンケートを行いました。

JAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた改革を展開しているところです。農業祭は、こうした取り組みへの理解を深めていただき、組合員および地域のみなさまの期待にこたえる一大イベントです。どの会場も大変多くの方に来場いただき、大いに盛り上がりました。ありがとうございました。



本誌タイトル「こいぶみ」とは、JA広島市の気持ちをまっすぐに、組合員をはじめ多くの人に届けるため、広報誌を手紙に見立てたところから命名いたしました。「こいぶみ」の「こい」には、人や地域を愛する「恋」のほか、多くの人に呼んでもらえる「来い」、情報が「濃い」など、さまざまな意味を込め表現しています。

